

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
相談援助の基盤と専門職 I		必修 (社) 選択 (精.心)	2	1	前期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
田村 正人	講師控室	kyoumu		授業終了後に質問等受付	
授業の目的・概要	<p>&lt;目的&gt;現代の社会問題は複雑で多様化している。社会福祉士が取り組む分野は児童、障害、高齢以外にも貧困や教育、医療、司法など広く展開している。</p> <p>&lt;概要&gt;本講義では学生がソーシャルワーク実践の基盤となるソーシャルワークの倫理、価値、役割、相談援助の構成要素における歴史的、社会的な形成過程等について学びを深める。形式として、課題学習、同時双方向授業で授業を展開する。課題学習ではテキストを基にしたレジュメを提示し、内容に沿った調べ学習課題の提出を求める。同時双方向授業では事前に提示した授業資料を基に、スライドを用いて授業を進めていく。また、受講生同士のディスカッションやグループワーク、プレゼンテーション等を活用し理解を深める。</p>				
学習上の助言	教科書や配布資料から気になるワードを自分なりに文献で調べることで探求する姿勢を身に付けてほしい。講義の質問や疑問についてはオフィスアワーかメール、リアクションペーパーで受け付ける。				
教科書	新・社会福祉士養成講座6 第3版 相談援助の基盤と専門職/編:社会福祉士養成講座編集委員会/中央法規出版				
参考書	指定参考書なし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	ソーシャルワークの形成過程を歴史から学び、理解し説明できる。			HSU(2)	
②	社会的な問題や社会福祉の対象について理解できるようになる。			HSU(1)	
③	ソーシャルワークの基盤としての価値・知識・技術の重要性を理解し説明できる。			HSU(1)、社 (2)	
④	ソーシャルワーク実践における理論について理解し、整理することができる。			HSU(2)	
⑤	講義やディスカッション等を通じて、自分の考えを整理して言語化することができる。			HSU(6)	
⑥	ソーシャルワークの役割や意義、専門性について理解し説明することができる。			HSU(2)、社(2)	
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション (授業の進め方、評価等についての説明、学習方法について理解する) 相談援助について学ぶ。	印刷教材での授業	配布プリント、教科書の講義内容を理解する。	2	
2	社会福祉士の役割と意義 社会福祉士の法的位置づけと役割について学ぶ。	印刷教材での授業	教科書(第1章、第1節)を読んでもくる。	4	
3	現代社会と地域生活① 現代社会の背景と社会福祉士の役割と意義について学ぶ。	印刷教材での授業	教科書(第1章、第2節)を読み、疑問をまとめる。	4	
4	現代社会と地域生活② 事例を通してソーシャルワークの意義を考える。	印刷教材での授業	教科書(第1章、第2節)の事例を読んでもくる。	4	
5	相談援助の定義と構成要素① ソーシャルワーク専門職のグローバル定義から、ソーシャルワークの本質を考え理解する。	印刷教材での授業	教科書(第2章、第1節)を読んで様々な定義を整理する。	4	
6	相談援助の定義と構成要素② ソーシャルワークの構成要素について学び理解する。	印刷教材での授業	教科書(第2章、第2節)を読んでもくる。	4	
7	相談援助の形成過程 I ① ソーシャルワーク前史からソーシャルワークへの発展を学び理解する。	印刷教材での授業	教科書(第3章、第1、2節)を読んでもくる。	4	
8	相談援助の形成過程 I ② ソーシャルワークの基礎の確立過程を学び理解する。	同時双方向型授業	教科書(第3章、第1、2節)を読んでもくる。	4	
9	相談援助の形成過程 II ① ケースワークからコミュニティ・オーガニゼーションへの流れを学び理解する。	同時双方向型授業	教科書(第4章、第2節)を読んでもくる。	4	
10	相談援助の形成過程 II ② 社会問題に対してソーシャルワークはどう展開していったのかを学び理解する。	同時双方向型授業	教科書(第4章、第2節)を読んでもくる。	4	
11	相談援助の形成過程 II ③ ソーシャルワークの統合化とジェネラリストソーシャルワークについて理解する。	同時双方向型授業	教科書(第4章、第3節)を読んでもくる。	4	

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

12	相談援助の理念Ⅰ①ソーシャルワークの実践と価値について学び理解する。	同時双方向型授業	教科書(第5章、第1、2節)を読ん でくる。	4
13	相談援助の理念Ⅰ②ソーシャルワーク実践と権利擁護について学び、人権の尊重について理解する。	同時双方向型授業	教科書(第5章、第3節)を読ん でくる。	4
14	相談援助の理念Ⅱ①クライアントの尊厳と自己決定について学び理解する。	同時双方向型授業	教科書(第6章、第1節)を読ん でくる。	4
15	相談援助の理念Ⅱ②ノーマライゼーションと社会的包摂について学び理解する。	同時双方向型授業	教科書(第6章、第2節)を読ん でくる。	6
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照			

達成度評価

総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		70	0	0	0	0	30
総合力指標	知識・技術力	30	0	0	0	0	30
	思考・推論・創造する力	30	0	0	0	10	40
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	10	20

評価のポイント

評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
試験	①	学期末に定期試験を実施して評価する。試験は講義で用いた教科書、配布プリントから出題するので、予習や復習を行い理解度を確認すること。 ・試験形式（筆記試験） ・問題形式（選択式・記述式・穴埋め式など）	試験結果を掲示する。
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
レポート	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
成果発表	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
ポートフォリオ	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
その他	①	講義中に理解を深めるため、適宜学生間で小グループによるディスカッション等を実施する。 授業で学んだことや疑問、意見などをリアクションペーパーで提出して頂き、意欲的に学ぶ姿勢を評価する。	授業で提出したリアクションペーパーは次回授業時に評価をして返却する。
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		

備 考

【履修についての条件】

\*社会福祉士、精神保健福祉士国家試験受験を希望する者は必ず履修すること。

【受講する際の注意事項】

- ・ソーシャルワークの基本を学ぶ科目なので、授業を通してなぜ社会でソーシャルワークが必要なのかを考えてほしい。
- ・授業中は積極的な発言を歓迎する。
- ・授業中の私語やスマートフォン等の電子機器類の使用は禁止する。
- ・受講態度に問題がある場合、注意しても守れない学生については退室をしてもらう。
- ・Microsoft Teams をつかった同時双方向型授業を行う。
- ・課題ダウンロードや映像共有を行うため授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を奨励する。
- ・今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもある。

**教員の実務経験：**8年社会福祉士として認知症高齢者や知的障害者、精神障害者の成年後見人の受任や、障害者の権利擁護法人の運営等をして8年の実践経験

**実践的授業の内容：**テキストの項目やシラバスの内容に沿って、教員が実践してきた事例（個人を特定できないよう加工）を用いたり、実践内容をソーシャルワークの基本に当てはめて説明を行うことで、学生がより科目内容を具体的に学ぶことができるように学習を進める。